

教科書 p28

「ぴったりの言葉、
見つけよう1」

めあて

心が動いたときのことを思い出し、そのときの
思い出を書くためのじゅんびをしよう。

☆ 教科書29ページの例文を読んで、どんな文章を書くのかをつかみましょう。

☆ これまでの体験の中から、次のような気持ちになったできごとを思い出してみよう。

例…家族で海に旅行に行ったこと など

※ とくに思い当たることがないところには、無理に書かなくてかまいません。

○ 楽しかったこと

--

○ うれしかったこと

--

○ 悲しかったこと

--

○ その他、心に

のこっていること

--

☆ その中から、文章に書きたいことを一つえらんで、上の○に色をぬりましょう。

☆ えらんだ体験の中で、特に強く心にのこっている場面と、その時の気持ちを書き出しましょう。

○ 特に心に強くのこっている場面

例…みんなで海岸でバーベキューをしたこと、海でボートに乗って沖へ出たこと、など

--

○ その時の気持ち

例…肉がとつてもおいしかった、潮風がとても気持ちよかった など

--

教科書 p28

「ぴったりの言葉、

見つけよう2」

めあて

心が動いたときのことを思い出し、そのときの
気持ちに合った表現を使って書き表そう。

☆ 学習プリント①の最後に書いた気持ちについて、「気持ちを直せつ表す言葉」を使わずに表す
とどう表せるかを考えてみましょう。教科書29ページの例文を参考に考えましょう。

【気持ちを直せつ表す言葉を使わずに表す方法の例】

- オノマトペ（ぎ音語、ぎ態語）を使う （例 心がうきうきした、心ぞうがどくと鳴った など）
- 体のじょうたいや、行動の様子で表す （例 むねがはずんだ、肩を落とした など）
- 比喩（たとえ）を使う （例 まるで空を飛んでいるような気分、おいしくて舌がとろけるよう など）
- 自分が伝えたい気持ちを、心にぴったりした表現に言いかえてみましょう。

く（気持ち）くて、
く（言いかえ）くだった。
というように書いて
みるとよいですよ。

☆ 考えた表現を使って、文章を書きましょう。

題

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※ 行が足りないときは、べつの紙を付け足すか、うら面に書きましょう。

短歌の世界

めあて

短歌を声に出して読み、言葉のリズムを楽しもう。

教科書 64 ～ 69 ページ

一 65 ページを読んで、短歌についてまとめましょう。

短歌…)

(の三十一音

自然の風景や心に感じたことを、ひびきのよい言葉や
で歌い上げている。

)

二 64 ～ 68 ページの、それぞれの短歌を書き写し、一を引いて、五音、七音に分けま
しょう。

(例) 春すぎて一夏来たるらし一白たえの一衣ほしたり一天の香具山

ころも

かぐやま

感想	えらんだ短歌

四 気に入った短歌を一つえらんで書き写し、選んだ理由をふくめて感想を書きましよう。(69ページの「ノートれい」をさんこうにしましょう。)

三 くり返しのリズムを楽しみながら、何度も声に出して読んでみましょう。

漢字の音を表す部分

教科書70、71ページを読んで、取り組みましょう。

一次の漢字にきょうつうしている部分は、部首ではありません。何を表しているか考えましょう。

(れい)

寺

時

きょうつうしている部分(寺) (時) 何を表しているか(ジ) (じ)という音を表している

(もんだい)

飯

板

坂

きょうつうしている部分(飯) (板) (坂) 何を表しているか(ん) (ばん) (はん)という音を表している

二漢字の中には、「部首」と「音を表す部分」とに分けられるものがあります。

「部首」を で「音を表す部分」を でかこみましょう。

課

絵 校 放 油 頭

草 問 想 案 究

三□の漢字と〳線の漢字の音を表す部分に気をつけて次の文を読みましよう。

(れい) 〔せい〕 〔せい〕
〔正〕門の前で児童たちが整列する。

① 世界一〔周〕を一週間〳〵でやりとげる。

② 〔化〕学工場に向けて貨物列車が進む。

③ 辞典で「〔未〕満」の意味を調べる。

④ 〔新〕たな命〔令〕を冷静〳〵に考える。